



学校便り

佐渡市立金井小学校 平成31年2月25日 第12号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

第2回学校評価（3学期。次年度に向けて）

校長 新発田 靖

先月の1月22日にサポート委員会を開きました。2学期の教育活動へのサポート委員の皆様のご意見とこれからの教育活動を次に示します。 * ()は1学期の評定

目指す子どもの姿	評価	サポート委員のご意見	3学期の手立て、改善策
【学力の向上】			
1 単元末テスト(国・社・算・理)の80%以上で全国平均以上になる。	B (A)	・「説明できる」ということが大事になる。そのための手立てとして、電子黒板を上手く活用するなどが必要である。研修をしっかりと行い、手立てを工夫して欲しい。	・「課題」「まとめ」「ふり返り」のある授業を継続して行い、定着を図る。 ・子供の問題意識や目的意識をより大切にする。 ・電子黒板の活用の在り方を工夫する。
2 Web テストの結果が全て県平均(-0.2)を上回る。	A (A)		
3 家庭学習強調週間中の平均学習時間が、学年×10分以上だった児童が90%以上になる。	A (B)	・家庭学習の達成率がよくなったのは素晴らしい。中学校との連携を進めることはよい。	・家庭学習について金井中学校との連携を図り、セルフマネジメント力をつけることを大事にして学習カードの形式を変える。
4 児童アンケートにより、「郷土への愛着」「人間関係形成・社会形成能力の社交」で肯定的評価が80%以上になる。	A (A)	・児童と保護者と教員との評価のずれを解釈することが大事である。また、学力などは絶対評価の観点で見る必要もある。	・生活科や総合の学習は地域人材の活用を継続し、改善点を明確にしながら引き継ぎを大事にして進めていく。
【豊かな心の育成】			
1 児童アンケートにより、「学校が楽しい」と思う児童が90%以上になる。	B (B)	・不登校、いじめが少ないのはすばらしい。 ・肯定評価に転じた20人をはじめ一人一人に対応しているのはよい。新たな肯定評価でない28名への支援を頑張ってもらいたい。	・学校が楽しくないと答えている児童に寄り添いながら、心の変化やトラブル等に全職員で素早く対応していく。 ・学級での居場所づくりやよさを認め合える集団づくりに努める。

<p>2 活動(秋遠足・文化祭)後の振り返りで肯定的評価の児童が90%以上になる。</p>	<p>A (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は楽しいと思っているが保護者はそう捉えていないこともある。「楽しい」という中身の解釈をしっかりとて欲しい。 ・教育相談のやり方にも工夫が必要である。 ・以前に比べて校内でのあいさつはよくなっていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5年生に引き継がれたあいさつ運動を充実させていく。また、家庭とも連携し、職員・保護者がよい手本を示せるようにしていく。
<p>【体力づくりや健康な生活づくりに取り組む子どもの育成】</p> <p>1 体力テストの50m走と立ち幅跳びの数値で、全国平均を上回る人数が1/2以上になる。</p> <p>2 児童アンケートにより、「早寝・早起き・朝ご飯」「メディアコントロール」で肯定的評価が80%以上になる。</p>	<p>B (B)</p> <p>A (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上大会での成績はすばらしい。引き続き頑張つて欲しい。 ・メディア(ゲーム)に3時間以上触れている子がいるが学力との関係も気になる。文明の機器のよさだけでなく危険性も教えて欲しい。 ・メディア時間については調査の仕方の工夫も必要である。 ・読書を奨励して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく、継続できる体力づくりメニューを準備する。 ・なわとび、大縄大会に向けた体力向上の場を用意する。 ・引き続き健康チェックや家庭学習強調週間を中心に、メディアコントロールを呼びかけていく。
<p>【上記以外に、サポート委員の方からいただいたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・13:40頃、学校に来たら黙々と掃除をしていて素晴らしいと思った。また、下駄箱もきちんと整理されていた。子供が落ち着いていることが分かる。 ・授業参観をした。子供が落ち着いて授業を受けていた。表情もよい。 ・校外でのあいさつができない理由でもあると思うが、地域で顔と顔が繋がっていることが大事である。地域のイベントに積極的に参加させて欲しい。 ・子供だけでなく親・家庭丸ごととらえて、一緒になって教育をしていくことが大事である。三者面談や一緒に給食等、親子と一緒の活動を増やしていくことが大事だと思われる。 ・4月に出る職員紹介の学校だよりをより充実させて欲しい。 			

